

表紙の写真

編集後記

28年度SEF科学教育通信(60号)の発行に当たり、ご執筆頂きました諸先生に厚く、御礼申し上げます。

1998年(平成10年)4月30日科学教育通信第1号を発行して、今回、60号を迎えました。当財団の設立者、故下泉重吉が戦後いち早く科学教育及び自然環境保護教育の重要性を唱え、社会に寄与するべく活動を始め半世紀以上になります。その間多くの先生方のお力添え頂き、公益財団として今日まで社会貢献活動を継承して参りました。

10年にわたり東京都私立幼稚園協会の自然観察指導の依頼も昨年で終わりましたが、毎年400人以上の先生方に指導させて頂きましたことは、貴重な活動であったと思います。

(石橋美冬)

木を食う虫の食痕

野ざらしになっていた杉丸太の樹皮が剥がれていました。材の表面だけが縦横に食い荒らされています。甲虫の幼虫の仕業と思われ



ますが、その種類までは分かりません。雨風に洗われて幼虫の齧った痕だけが溝状に残されていますが、皮が剥がされた直後はこの写真のように幼虫の糞で埋め尽くされています。虫の種類によって食い痕の様子が違うので観察の楽しみがあります。樹皮のすぐ内側は大切な水分や養分の通り道なので、シカ・サル・リスなどもここを齧って木を枯らし、林業家を困らせます。 石川文也

公益財団法人 科学教育研究会会報

SEF 科学教育通信 No. 60号 (通巻 83号)

2016年(平成28年)10月31日発行

■発行所 公益財団法人 科学教育研究会(研究所)

■発行人 石橋 美冬

《研究所》

〒177-0041

東京都練馬区石神井町2-28-31

電話 03-6794-6781

FAX 03-6794-6782

E-mail vvs04613@nifty.com

URL <http://sef.or.jp/>

この本を複写・転載される場合は、事前に研究会までご一報下さい。